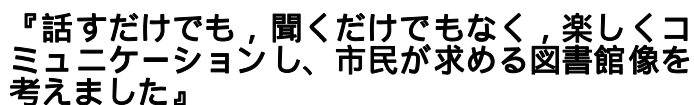


 バブー
 0才から
 77才の方々が
 参加されました



ワークショップとは“働く+場”。頭と体と感覚をフルに使って、みんな平等な立場で、いろいろな意見があることを知り、そして共同・協働する場です。それには対話が必要です。

よく晴れた夏日でしたが、外の暑さに負けない熱い意見のやりとりがおこなわれました。

柏市新中央圖書館整備

```

graph TD
    A[第一回 7月30日]  
柏市立図書館のいまから未来へ  
- TA KARAとARAを考えよう！  
→ B[第二回 9月24日]  
新しい図書館を  
“使える”図書館にするために  
- “新しい図書館って？”を考えよう-  
→ C[第三回 12月10日]  
新しい図書館に市民はどう関わる？  
- 市民が図書館運営に関わるって？-
  
```

第一回 7月30日

- ・ 市民の役割と参加するみんなが知り合おう
- ・ ワークショップって何かを理解しよう
- ・ 市民のチーム意識を創ろう
- ・ 現図書館の TA KARA と ARA を出してみよう
- ・ 新中央図書館にとって「大事なことって？」を話し合おう

柏市立図書館のいまから未来へ
- TA KARA と ARA を考えよう！

第二回 9月24日

- ・ 前回の振り返り（どんな意見や結果があったか？）
- ・ 柏市の新しい図書館って何？を聞こう
- ・ 運営方針や多様な連携の考え方を聞こう
- ・ グループに分かれて話し合ってみよう

新しい図書館を
“使える”図書館にするために
- “新しい図書館って？”を考えよう-

第三回 12月10日

- ・ 前回の振り返り（どんな意見や結果があったか？）
- ・ 市民が参画する図書館つての話を聞こう
- ・ 柏市の市民はどこまで聞かれそう？を話し合おう
- ・ かかわり度合いによる新しいサービスを提案してみよう

新しい図書館に市民はどう関わる？
- 市民が図書館運営に関わるって？-

今回は、3回にわたって開催するワークショップの第一回目。右が当日のやることメニューです。

このワークショップは、市民の意見を伝える立場としてののはたらきがあります。ここで出た意見は、柏市教育委員会・有識者懇談会に伝えられます。そして新中央図書館整備における基本構想策定の参考とします。


 裏面もあります





『いいところもわるいところも
たくさんの意見が出されました』

今の柏市立図書館のいいところ「TAKARA」と、わるいところ「ARA」をみんなで考えました。

みんなが、それぞれの意見を一項目一枚ずつ紙に書いて、大きな紙にぺたぺたと張っていきます。出てきたたくさんの意見を分類していくと、柏市の図書館の今の姿が見えてきました。



ARA

IT化遅れている！

県横断検索なし / 図書館HP充実！ / インターネット蔵書確認、貸出状況、予約ができない

利用時間狭い！

都心通勤、通学者が市内に居る時間に閉館 / 休館日多い

速い図書館...

どの分館も遠く子どもだけで利用できない / 駅から遠い / 住まいから中央図書館が遠い / 交通不便

施設が悪い！

情報障害者用対面朗読室がない / 駐車場が少ない / 視聴覚コーナーがない / 返却BOXを駅に！

蔵書と整理が...

資料が古い / 視聴覚資料が少ない / 本を見つけない配置に工夫と余裕を / 棚に本がぎっしり / 分類、ジャンルが異なるものが混入している！

とにかく道を良くして

司書増やして / 館長の長い勤務と適正人材を / 子どもの本と指導がない / レファレンス充実 / 読書が困難な人のための配慮を / 児童サービス不十分 / 職員に熱意なし / 運営の風通し悪い / 館内モラルが悪い / 分館無計画で機能麻痺。資料費の有効活用の妨げでは？



TAKARA

“ひと”は良い！

本を注文しても気分よく手配してくれる / スタッフの対応が良い / 受付の女性がニコリとして本を出してくれる / 司書は結構頑張っていると思う

蔵書の良い点

少しだがマンガも置いていた / 蔵書は多い / 新着図書選定は比較的良好いのでは？

検索の良い点

バーコードの管理貸出制度導入は早かった / 分館で本の有無の検索ができる（ただし、中途半端？）

利用時間の良い点

遅い時間までOPENしていること

立地の良い点

柏駅に近い / 16 の分館が地域に近い場所に存在し、歩いていける / 中央図書館と分館とのネットワーク。サテライト方式は今後も十分考慮に入れて

他にもある良い点

リサイクルコーナーができた / 分館は求める資料はないけど、ゆっくり資料持参で調べられる / かつて、学習会を共にできた職員がいた / 分館は「もうひとつの本館」の感じ / 分館はサンダル・普段着で行ける

市民として望むこと

情報化

図書館独自のHP / 知りたい情報、読みたい本をその場で / インターネット検索、予約、状況確認、他図書館蔵書検索 / 調べものができる検索できるシステム県内横断検索に入れる / 子ども向けの蔵書検索可能に / ILL-APLAN 対応 / デジタル・コンテンツ化 / 38万中核都市らしい蔵書 / 医学専門書、辞書を豊富 / レファレンス・ルームに常に職員を配備

学習・体験・遊び

講演会 / ティーンエージャーのためのシステム / 学校では学べない、教えてもらえない、もうひとつの教育スペース / お母さんと子ども / 子供に優しい施設 / 乳幼児と大人（親）が共有できる空間 / 子供と本を結びつける職員 / 小学校図書館との連携を視野に置いた運営

生活支援・地域情報

地域情報の発信、集約 / 地域ごとに中規模分館を作りネットワーク

理念・前提

人と人が「本」を通して出会う・時代、市民発展に対応・図書館は本当に必要？・複合化反対・図書館以前に文化施設のありようを、将来的に市民負担増とならないか？利用者第一優先・情報集約、サービス分散・新図書館ができた後もニーズの変化に合わせて変えられること！建築物としてではなく、使い勝手が良い図書館・延べ床面積は1万㎡以上を確保・館長は司書の有資格者・司書優遇・児童サービス重視・市直営で、基本業務の委託はしない



『新しい図書館がどんな図書館であってほしいかを考えました』

みんなが使いやすい施設のこと、立地場所のこと、図書館が保存する資料のこと、便利に図書館を使うためのIT化や情報化のこと...みんなの知恵を集めると、理想の柏市の図書館が見えてきました。

やすらぎ

こだわりのカフェ・レストラン / 知的雰囲気の中でくつろげる場 / デートの待ち合わせにも利用できるようなオシャレで素敵な建物 / 閲覧スペースを広く

市民・交流・バリアフリー

ボランティアは本の修理以外も様々にできる / 友の会の設置 / 他団体とのネットワーク（医師会、弁護士会、建築士会 etc） / 対面朗読室を2～3室（明るい室） / 防音・吸音のある読み上げ録音室3～5室 / 見えない障害（心の）がある人が利用したいと思えるスペース / 催し広場 etc / 年寄りのため拡大鏡をセットしたテーブル / バリアフリー化 / 音声図書、音声ソフト等 / 病院へ朗読テープ貸出システム / 音声誘導装置 / 館内におけるマナー指導。利用者マナー指導者育成。

利便性

都心通勤・通学者に配慮（柏駅の有効活用） / 早朝・深夜分館、本の受け渡し・返却 / 市内どこからでも行ける便利な立地 / 広い駐車場 / 人目につく場所にトイレを / 駐車場と寄寄せの屋根 / 展示タナの考慮 / 速い立地なら無料のシャトルバス（1時間に4本くらい） / 貸し出し延長の電話、カウンター受付 / 貸出カードの導入

もしも私が図書館長だったら

運営手法を検討したい！ “人”について

重視したい！

より良い施設にしたい！

理念的なこと

「文化のバロメーターたる図書館として、常に未来を見据えていく」「利用者」と直接触れ合う現場の声を生かせる組織作り」「今できるサービスはすぐやる」「何かを始めたい、使いたいと思ったときはまず図書館へ」「あらゆる市民が公平に使える図書館」「本や情報を通じて新しい人と人が出会う文化拠点」

業務委託で運営

図書館への意識の高い有資格者で構成されるはず / 直営で運営 / 業務委託ではない専門職を希望

館長は生涯学習に関わる / 職員数配 / 司書有資格者登用 / 図書館構成員の

コストを下げる / 現場からニーズをリサーチし、それを生かしたサービスを / 行う意欲ある職員育成 / 貸出返却はアルバイトに / 力量ある職員を分館も含め配置 / 児童サービスを未来の市民を育てる重点サービスに / 障害者サービスはハードとソフトも充実

複合施設で図書館をもっと市民の身近な場所に / デザインに優れた建物にしたい / 高価な建物は作らない / 設備面で子ども、青少年が健全に読書を楽しめる場に

利便性向上をめざしたい！

中央図書館に機能集中。分館は場合によっては削減 / 駅と図書館の関わりを強く（返却BOX設置） / 市民が利用しやすい図書館。開館日時の検討。予約、貸し出し返却システム改善 / 祝日開館実施

市民との関わりを創りたい！

市民意見を常に確認、必ず返答。変更点を明確に。常にニーズ変化に対応 / ボランティア活用と情報発信活性化 / 利用者サービスが集まる部屋と人づくり（朗読やお話を向うし、館員が注意する権限を生かしていくようにする

経営を考え、図書館の地位を高めた！

年間計画、長期、中期、短期計画を立て、少ない予算を生かす / 柏市立図書館全体のサービス計画をまず作る / 既存図書館分館とのネットワークを密にして利用しやすいシステムにする / 市機構の中で図書館の位置を高める / 議員をサポーターに巻き込む

『もし自分が図書館長だったら
ということで考えました』

これまででは、市民としての立場からたくさんの意見や要望を考えてきましたが、もし自分が図書館長だったらどうありたいか、どんな方法で図書館を改善していくか、視点を変えて考えてみました。

その結果、理念やお金、ルールのことなどさまざまな意見が出ました。

次回のおしらせ

第二回市民ワークショップ

日時：9月24日（日）
9時～12時

場所：柏市役所沼南庁舎
5階501会議室

宿題が出ました。

- ・新中央図書館の理念やキャッチフレーズを考える
- ・それがどういう展開で行われるか、内容を詳しく考える

事務局・連絡先

柏市教育委員会

生涯学習部教育総務課

Tel：04-7191-1111（894）

Fax：04-7190-0892

発行日：平成18年8月16日